

いしい ひさお
石居 尚郎 議員
(公明党)



◇羽村産業ルネサンスの胎動を
◇新型インフルエンザ対策
◇生涯学習と文化芸術振興

羽村産業ルネサンスの胎動を

質問 新しい価値観、新しい経営理念、経営哲学のもとで、羽村の産業活性化推進策を中・長期の展望で推進を。

市長 激動する世界経済や新しい価値観などを踏まえた、新たな「産業振興ビジョン」については、第五次長期総合計画の中で示すよう準備を進める。

質問 新しい時代に対応した、産官学の連携を今再び積極的に推進しては。

市長 異業種連携や広域連携による相乗効果が大きい事業等については、「社団法人 学術・文化・産業ネットワーク

市民生活安全パトロールについて

質問 市民生活安全パトロールの実施方法が変わり、登録者は何人になったか。

市長 198人から58人になった。

質問 実施方法を変更したのは、参加者からの意見か。また、今後は。

市長 実施日については、福生警察署

と相談の上、犯罪の発生率が高いとされる木・金曜日とした。今後、羽村市防犯・交通安全及び火災予防推進会議の中で、具体的な見通しなど、早い時期に一定の結論を出していきたい。

○その他、指定管理者制度についても質問しました。

多摩や「社団法人 首都圏産業活性化協会」等のネットワークを活用し、積極的に推進していきたい。

新型インフルエンザに対する適切な施策を

質問 昨年12月議会で、鳥由来の強毒性インフルエンザ対策についての質問に対し、羽村市は、行動計画、対応マニュアルの作成を約束した。今進めている対応や経験をどのように生かし、いつまでに行動計画や対応マニュアルを作成していくのか。

市長 今回の対応や経験を踏まえ、強

毒性・弱毒性、双方への対応ができ、感染防護服やマスクなどの計画的な備蓄、情報伝達系統の確立、発生段階に応じた対応策などを盛り込んだ行動計画を8月中にまとめる予定。その後、総合的なマニュアル、事業継続計画の策定にとりかかる。

生涯学習と文化芸術振興

質問 「自立と連携を育む生涯学習社会の構築」とはどのようなものか。

教育長 市民が自己実現を図りつつ、学んだ成果を地域社会に還元し、地域社会全体の持続的な教育力の向上に貢献するといった循環型の生涯学習社会の構築を目指したものである。

西口区画整理の将来像について

厳しい財政状況の中で巨額の事業費に疑問の声も聞かれる。今後の見通しを説明し理解を得る必要があると考える。

質問 西口の将来像をどう描くか。

市長 安全性・福祉・コミュニティ・景観等に配慮したまちづくりを説明し、

その実現に向け取り組んできた。

質問 必要な部分と現状修復等でよい部分を分ける考えはないか。

市長 公共性の高い所から進めるが、提案の内容は検討していく。

○その他、意見書の扱い、商店街活性化案、都市機能充実施策についても質問しました。



▲生涯学習センターゆとりぎ

たきしま よしお
瀧島 愛夫 議員
 (新政会市民クラブ)



◇新奥多摩街道の街路樹追加植栽
 ◇市有財産(けやき協同組合貸付)

街路樹追加植栽について

現在、街路樹として、イチヨウとサツキが植栽されている。それに加えて桃の木が追加植栽されている。その結果、歩道からの見通しが悪くなり、民地からの出入りにも支障があると思われる。

また、今進行中の街づくりにも配慮が必要であると考えます。

質問 植栽について都との協議は。

市長 東京都からの事前協議はなく、

昨年の10月17日に西多摩建設事務所から担当者に説明があった。

質問 羽村市の今後の対応は。

市長 市として、歩行者の安全確保、植

木の適正な管理、交通安全等を都に申し入れた。都から誠実に対応するとの回答を得ている。

市有財産(けやき協同組合貸付)運用について

質問 貸付に関する条件は。

市長 組合とは土地賃貸借契約を締結しており、市有地であることから「小作地域の商業振興、活性化および同地域への貢献を履行すること」を条件としている。

質問 駐車場の年間売上額は。

市長 平成17年度は2千656万円、平成18年度は2千622万円、平成19



▲新奥多摩街道の街路樹

すずき たくや
鈴木 拓也 議員
 (日本共産党)



◇小中一貫教育校について問う
 ◇羽村駅西口区画整理について
 ◇子どもの医療費無料化を

小中一貫教育校について問う

質問 5月22日に開催された「小中一貫校検討委員会」では、父母・教職員・市民の意見を聞かずに、9月に教育委員会が実施を「決定」するというスケジュールになった。事前に保護者・地域への説明と意見聴取などを行うべきではないか。

質問 武蔵野小・三中では、来年度に「プレ開校」し、問題点を洗い出してみることだが、どういう内容か。5・6年生は来年9月から三中に移動するというのは本当か。

質問 小学校校長から、教員の意見を聞かずに上から押し付けるような発言があった。こうした姿勢では、教員のやる気が上がらず、成功しないのでは。

質問 小中一貫校を成功させるためには人的な手当てが不可欠との意見が出された。確実に手当てされるのか。

教育長 いずれの質問も検討委員会で話された内容なので一つ一つには答え



▲羽村駅西口周辺

られないが、最終的な検討結果として、最終報告をいただくので、その報告を見たらうで判断していく考えである。

羽村駅西口区画整理について問う

質問 市長選挙では、並木市長の得票は前回と比べ1千731票マイナスだった。西口区画整理事業が最大の争点となったこの選挙での結果は、ます

もんま ひでこ
門間 淑子 議員
 (市民ネットワーク
 「いきいき広場」)



◇ 社会保障カード (仮称) システム
 ◇ 学校教育環境のさらなる充実を

社会保障カード (仮称) システム

社会保障カード (仮称) は、年金手帳・健康保険証・介護保険証の3つの役割を一枚のICカードにまとめ、病気や障害、介護の情報、年金の受領額など究極のプライバシーを記録し、本人、病院、自治体、各種健康保険組合、社会保障庁を結ぶもので、平成23年度の導入に向け報告書が出された。影響の大きな制度である。

質問 カードの発行主体、システムの運営主体はどこか。市町村への説明はあったか。個人情報漏洩へのセキュリティ

年度は2千609万円、平成20年度は2千404万円である。
質問 西多摩新聞を組合員に配付、清掃パトロールとして毎月一人9千円を費用弁償として支給、組合員の健康管理のため人間ドック受診補助として5万円を支給、毎年研修旅行を実施して

いるのを承知か。
市長 毎年度提出される同組合の総会資料で把握している。
 ティ対策はどうか。羽村市の費用負担は計算されているか。リスクの大きなカードを導入することへの市長見解は。
市長 すべての質問に一括して答える。国や東京都から説明を受けていないこと、また報告書は一定の結論を得たものではないため、具体的な答弁はできない。今後慎重に取り組んでいきたい。
学校教育環境のさらなる充実を
質問 新学習指導要領が先行実施され小学校教員に専門外の英語指導が求められたが、どのような支援体制を組んだか。

ます多くの市民が、計画の見直し・撤回の声をあげ始めていることの表れだと考えるが、どう認識しているか。
市長 西口区画整理の推進を公約に信任を受けたので、着実に事業を進める。
質問 市の設計図に対する580人の意見書のほとんどは「納得できない」と

教育長 英語活動コーディネーターを配置した。平成20年度〜平成22年度に、研究授業や校内研究を計画し、全教員が指導方法を身につけるようにする。
質問 低学年でも6時間授業があるが児童は対応できているのか。
教育長 授業時間を多くすることで、学習活動も充実できる。児童は、落ち着いて学習している。
質問 小学校には学習サポーターの増員が必要ではないか。
教育長 特別支援教育支援員の配置も含め、総合的に考えていく。
質問 学校図書館司書の配置日数を増やすべきではないか。
教育長 現在の配置による効果を検証し、対応して行く。

の声だった。これほど多くの意見があることは、市の計画が非現実的であることを示しているのではないか。
市長 権利者が率直な意見・要望を出されたものと受け止めている。
 ○その他、子どもの医療費を無料化にすべきではないかとの質問もしました。



▲富士見小学校の休み時間の様子